

令和6年度 第2回 倫理委員会審議

申請者	呼吸器内科部長	中富 克己
受付番号	24-06	
課題名	化学療法未治療の進行再発胸腺上皮性腫瘍（胸腺腫・胸腺癌）に対するカルボプラチン+nab-パクリタキセル（CBDCA+nab-PTX）併用療法の有効性と安全性に関する第II相試験	
研究の概要	<p>胸腺腫、胸腺癌は本邦の2011～2015年の地域がん登録事業の統計値によると、年齢調整罹患率は人口10万当たり0.6人/年程度、うち胸腺癌は人口10万人当たり0.29-0.38人/年と希少疾患である。一方で、画像評価の進歩や疾患認知度の向上もあり、2018年の本邦の手術数は胸腺腫2098例、胸腺癌325例と、10年前の2008年の胸腺腫1712例、胸腺癌240例と比較して増加傾向にあり、治療法の確立がより重要となっている。胸腺上皮性腫瘍の治療の主流は手術であるが、切除不能な場合や転移性胸腺上皮性腫瘍に対しては、化学療法が選択される。</p> <p>ガイドライン上、胸腺腫に対する薬物治療としては「シスプラチン」と「アンスラサイクリン」の併用療法が推奨されており、胸腺癌に対しては「カルボプラチン」と「パクリタキセル」または「アムルビシン」の併用療法が提案されている。</p> <p>他の種類のがんでは「パクリタキセル」の代用薬として「nab-パクリタキセル」が治療に用いられており、治療効果や副作用等のデータが集積されているが、胸腺上皮腫瘍ではデータが少ないのが現状である。今回我々は「カルボプラチン」と「ナブパクリタキセル」の併用療法の有効性、安全性を評価し、今後の治療選択肢の一つとして確立するため臨床研究を計画した。</p>	
判定	迅速審査承認	R6.5.10 付長崎大学臨床研究審査委員会承認課題。 計画どおり承認とする。

申請者	救命救急センター長	藤原 紳助
受付番号	23-07	
課題名	院内心停止データレジストリーに関する多機関共同研究	
判定	迅速審査承認	R6.3.27 付聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会承認課題。 共同研究機関の変更および文書改定等の変更による変更申請。 再審議の上、承認とする。

申請者	救命救急センター長	藤原 紳助
受付番号	23-12	
課題名	Rapid Response System(RRS)データレジストリーに関する多機関共同研究	
判定	迅速審査承認	R6.3.29 付聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会承認課題。 共同研究機関の変更および文書改定等の変更による変更申請。 再審議の上、承認とする。

申請者	主任栄養士	安藤 翔治
受付番号	24-07	
課題名	救命救急センター入院患者におけるビタミン B ₁ 補充の早期栄養管理の必要性：血中ビタミン B ₁ 濃度の後方視的検討	
研究の概要	本研究は、横断研究である。血中ビタミン B ₁ 濃度を評価した救命救急センターの入院患者を対象にビタミン B ₁ 補充の早期栄養管理の必要性を検討する。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	リウマチ科部長	荒武 弘一朗
受付番号	20-82	
課題名	メトトレキサート (MTX) 抵抗性関節リウマチ患者を対象としたウパダシチニブ+MTX 併用による臨床的寛解達成および臨床的寛解達成後の MTX 休薬における臨床的非再燃の維持を評価する多施設共同前向き試験(DOPPLER STUDY)	
判定	迅速審査承認	R6.5.23 付長崎大学認定臨床研究審査委員会承認課題。 不適合報告、施設追加、研究責任医師変更などの他施設情報の変更と、軽微変更通知書の提出による変更申請。 再審議の上、承認とする。

申請者	消化器内科医師	行元 崇浩
受付番号	24-08	
課題名	未分化型早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の内視鏡的根治度 C-2 病変における転移・再発危険因子および長期予後に関する検討	
研究の概要	早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic submucosal dissection;ESD) を行い、病理組織診断で主たる組織型が未分化型優位で、内視鏡的根治度 C-2 と判定され、追加外科切除を行った症例から転移・再発危険因子を同定し、リスクスコアリングシステムを開発する。加えて、主たる組織型が未分化型優位の内視鏡的根治度 C-2 患者の長期予後を明らかにする。本研究は北九州市立病院主導の多施設共同研究である。	
判定	迅速審査承認	R5.12.21 付地方独立行政法人北九州市立病院機構治験・臨床研究審査委員会承認課題。 計画どおり承認とする。

申請者	循環器内科部長	下村 光洋
受付番号	21-24	
課題名	心不全増悪入院患者におけるアンジオテンシン・ネプリライシン阻害薬の研究 (PREMIER study)	
判定	迅速審査承認	R6.3.13 付福島県立医科大学認定臨床研究審査委員会承認課題。 定期報告、定期報告に付随する修正等の変更による変更申請。 再審議の上、承認とする。

申請者	副院長	佐々木 英祐
受付番号	24-09	
課題名	長崎地区及びその周辺の研究機関を急性呼吸器感染症（ARI）により受診した高齢者を対象としたRSウイルス（RSV）による疾病負担を評価するための前向き、多施設共同疫学研究：Nagasaki ROAD study	
研究の概要	日本人高齢者に対して、インフルエンザウイルス以外の各呼吸器ウイルスによる急性呼吸器感染症（ARI）への寄与が十分に明らかにされていないため、本研究では長崎地区及びその周辺の研究機関をARIより受診（外来受診、救急外来、又は入院）した50歳以上の研究対象者を対象に、RSウイルス（RSV）及びその他の呼吸器ウイルス/細菌によるARIの入院、合併症及び発生割合について記述する。また、ARIを発現した研究対象者において、ARI発現以降の健康に関連した生活の質（HRQoL：Short Form 12 item Version 2[SF-12 V2]日本語）への影響を調査し、RSVエピソードが日本人高齢者の長期のHRQoLに及ぼす影響を明らかにする。	
判定	迅速審査承認	R6.4.16 付長崎大学臨床研究倫理委員会承認課題。計画どおり承認とする。

申請者	呼吸器内科部長	中富 克己
受付番号	21-26	
課題名	Anamorelin 投与が非小細胞肺癌患者への複合免疫療法に与える影響の前向き観察研究（SPIRAL-ANA）	
判定	迅速審査承認	R6.6.5 付特定非営利活動法人治験ネットワーク福岡倫理審査委員会承認課題。他施設情報変更による変更申請。再審議の上、承認とする。

申請者	手術室看護師長	渡邊 かおり
受付番号	24-10	
課題名	リーダーナース育成支援を通じた看護師長の人材育成能力開発（コンピテンシー・モデルを活用して）	
研究の概要	<p>看護師長は、スタッフの能力向上や成長を促進する役割を担い人材育成に取り組む必要がある。その中で、チーム全体の統率力とチームスタッフのサポート強化、看護の質の向上に繋がりたいと考え、リーダーナース育成の支援を行いたいと考えた。リーダーナースとは、熟達した看護業務を行い、質の高い医療が提供できるようリーダーシップを発揮し、他者に継続して影響を及ぼす看護師であると考えている。リーダーナース育成における看護師長の課題は、スタッフ個々のキャリア開発に向けた支援を、意図的に実践出来ていないことが挙げられる。このことから、リーダーナース育成において、スタッフ個々の潜在的な能力を効果的に引き出す必要があり、看護師長のマネジメント能力開発が必須であると考えた。</p> <p>宗村らは、「コンピテンシーとはある職務や状況において高い成果・業績を生み出すための特徴的な行動特性のことである」と述べており、行動が発揮されたかどうかを内省しながら、フィードバックを受けることで更に能力が向上していくものとする。また、看護管理者がコンピテンシーを発揮する効果については、スタッフを介した良質なケアの提供や患者のQOLの向上につながると武村らは見解を示している。</p> <p>嬉野医療センターでは、看護師長がコンピテンシー・モデルを活用した人材育成の事例を基に検討会を行うことで、意図的に行動することの重要性などを</p>	

	<p>学んだ。一方で、対象者に応じたコンピテンシーレベル設定が意図的に行えていなかったこと、人材育成として一場面の評価にとどまっておき、コンピテンシー・モデルを展開するまでには至らなかった。これらの要因は、コンピテンシー・モデルの理解不足により、上手く活用できなかったからだと考える。そのため、コンピテンシー・モデルの学習会で理解を深め、リーダーナース人材育成に焦点を絞り、看護師長として意図的にコンピテンシー・モデルを活用した実践と、客観的に評価及び内省を繰り返すことで、新たな気づきを得られると考える。その結果、看護師長としてリーダーナースへの関りが変化し、リーダーナースの成長につながり、看護師長の人材育成能力が高まると考えた。</p> <p>先行研究では看護師長のコンピテンシー・モデルを活用したリーダーナースの育成に関する看護管理能力に焦点を当てた研究は少ない。しかし、看護師長の働きかけがスタッフの学習行動を増すことや承認行為がスタッフの職務満足に影響を与えることが明らかとなっており、安全で質の高い看護サービスを提供していくためには、人的資源の質向上が必須であると考えられる。</p> <p>そこで、リーダーナースの育成についてコンピテンシー・モデルを活用した展開をすることで、看護師長のコンピテンシーの理解が深まり、人材育成能力開発に繋がるか明らかにしたい。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	6 西病棟看護師長	高森 いずみ
受付番号	24-11	
課題名	コッターの8段階プロセスを活用した取り組みによる看護管理者の能力開発	
研究の概要	<p>近年、医療を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、課題は複雑になり、看護管理者に求められる役割も拡大している。看護管理者には、時代の流れを読み取り、自組織の役割と特殊性を踏まえ、質の高い看護サービスの提供、医療事故の防止、患者満足度の向上、労務管理、人材育成などの、さまざまなマネジメントが求められている。国立病院機構では、看護管理能力開発プログラム（CREATE）にて「組織管理能力」「質管理能力」「危機管理能力」「人材育成能力」「自己開発力」の5つの能力を駆使し、どのような環境下においても揺らぐことなく、その役割を遂行していくことが求められる。実際に本院の看護師長は各部署の目標達成に向けて戦略を立て実践、評価を行っているが、系統立てた方法を活用しないまま自部署の看護管理の実践を行っている。</p> <p>そのため、自己の看護管理実践に自信がなく、自分自身にどの程度の管理能力があるのか認識できていない現状がある。また、副看護師長に対する課題達成能力開発に向けての支援も不十分となっている。</p> <p>そこで、本研究では、各部署の副看護師長がコッターの8段階プロセスを活用した組織管理に取り組み、課題解決にむけて看護師長が支援を行うことで、看護管理者としてお互いに成長できるのではないかと考えた。そのため、コッターの8段階プロセスを活用した取り組みの前後でCREATEの評価表に基づき自己評価を行うことで、看護管理能力の開発につながっているかを明らかにしたい。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	呼吸器内科部長	中富 克己
受付番号	21-26	
課題名	Anamorelin 投与が非小細胞肺癌患者への複合免疫療法に与える影響の前向き観察研究（SPIRAL-ANA）	
判定	迅速審査承認	R6.6.12 付特定非営利活動法人治験ネットワーク福岡倫理審査委員会承認課題。他施設情報の変更による変更申請。再審議の上、承認とする。

申請者	副院長	佐々木 英祐
受付番号	24-09	
課題名	長崎地区及びその周辺の研究機関を急性呼吸器感染症（ARI）により受診した高齢者を対象としたRSウイルス（RSV）による疾病負担を評価するための前向き、多施設共同疫学研究：Nagasaki ROAD study	
判定	迅速審査承認	R6.7.1 付長崎大学認定臨床研究審査委員会承認課題。研究計画書の軽微な改定による変更申請。再審議の上、承認とする。

申請者	撮影透視主任	木須 康太
受付番号	24-12	
課題名	DaT View（脳内の黒質線条体ドパミントランスポーターを画像化する核医学検査：パーキンソン症候群やレビー小体型認知症の診断に有効）におけるVer.1.3とVer.1.4の比較検討	
研究の概要	<p>DaTViewは脳内の黒質線条体ドパミントランスポーターを画像化する検査で、パーキンソン症候群やレビー小体型認知症の診断の早期診断や鑑別診断に役立つ検査である。今回DaTViewの更新が行われ、Ver.1.4がリリースされた。Ver.1.4では解剖学的標準化機能が搭載され、線条体を尾状核・被殻に分けて後頭葉と比較したカウント比の値を算出できるようになった。</p> <p>この機能の結果は世界でもまだエビデンスが出されてなく研究段階である、この機能を研究することにより新たな診断基準ができる可能性がある。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	主任放射線技師	青木 秀平
受付番号	24-13	
課題名	FFR ANGIOにおける解析差についての検討	
研究の概要	<p>令和5年12月1日に心カテ室検査室にFFR ANGIOシステムが導入された。FFR ANGIOシステムは従来のワイヤーを使用したFFRに代わるものとして期待されている。FFR値の算出には冠動脈のDA画像を用い、FFR ANGIOシステムで解析者が冠動脈のトレースを行い、高度なアルゴリズムを使用して、FFR値が提供される。解析を行う際、解析目的血管で冠動脈のトレース血管が異なり、LADの場合はLMTからLAD本管、Diagonal、LCX本管である。LCXにおいてはLMTからLCX本管、OM、LAD本管である。RCAの場合はRCA本管、RV、4AV、4PDの正確なトレースが求められる。解析目的血管に応じた冠動脈トレースの精度はFFR値の結果に影響を及ぼす為、FFR ANGIOシステムにおける検者間のFFR値の違いの検討を行う。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	呼吸器内科医長	小宮 一利
受付番号	24-14	
課題名	アジアにおける肺癌個別化医療の確立を目指したゲノムスクリーニング研究：Lung Cancer Genomic Screening Project for Individualized Medicine in Asia (LC-SCRUM-Asia)	
研究の概要	本研究は、肺癌を対象とした遺伝子スクリーニングと蛋白発現解析を行い、	

		肺癌の個別化医療の発展に貢献していくために、遺伝子異常や蛋白発現変化を有する肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにすること、その解析情報や臨床情報を本研究に参加する研究機関（アカデミア、製薬企業を問わない）へ提供することによって、標的分子を対象とした治療開発や診断薬開発を推進すること、東アジアにおける大規模肺癌臨床ゲノム統合データベースを構築することを目的とする。
判定	迅速審査承認	R6.6.20 付国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会承認課題。計画どおり承認とする。

申請者	手術室看護師	古川 冬矢
受付番号	24-15	
課題名	手術室看護に対する患者満足度調査の実施 ～手術室看護の質向上を目指して～	
研究の概要	毎年、外来や入院患者に対し患者満足度調査を実施されているが、手術室に関する満足度調査の実施は少ない。患者が安心して手術を受けることができるために患者の意見を反映し手術室看護の質を改善していく必要がある。そのため、手術室看護における満足度調査をアンケート調査で実施し、評価することで課題や改善点を明確にする。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	4 東病棟看護師	大島 未空
受付番号	24-16	
課題名	嬉野医療センターにおける心臓血管外科手術を受けた患者のせん妄関連因子の検討	
研究の概要	<p>せん妄の発症は術後合併症の発生や在院日数の延長、医療費の増大などに繋がり、生命予後に影響することが明らかになってきている。</p> <p>当院では、術前より心臓手術患者に対して、術後の流れについてパンフレットを用いた指導、リハビリ、ICU 見学を行い、せん妄発症予防に取り組んでいる。しかし近年、患者の高齢化に伴い術後せん妄発症が増加し、時に点滴自己抜針や転倒などのインシデントも発生している。また心臓血管外科手術後のせん妄発症頻度は非心臓手術より高いと明らかになっており、今後もせん妄リスク患者の対応やせん妄予防が重要となってくる。</p> <p>当院では入院時にせん妄リスク患者へ Delirium Screening Toor (以下 DST) を用いてせん妄評価を実施している。しかし心臓血管手術後にせん妄評価について実施しておらず、評価については看護師の知識、経験に基づき行っており、せん妄の判別に個人差がある。</p> <p>DST はせん妄を他の疾患からスクリーニングする目的で作成されたツールである。DST を使用することでせん妄の可能性を察知することができるが点数化できるツールではなく、せん妄の程度を図ることは難し。</p> <p>本研究では心臓血管外科手術後の患者に対して DST、Intensive Care Delirium Checklist の指標を用いた評価とせん妄関連因子の検討を行うことで、せん妄発症における関連因子について明らかにしたいと考えた。せん妄患者の関連因子が明確となることで今後のせん妄発症リスクのある患者への予防、対策へつなげることができると考える。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	5 西病棟看護師	碓 真優
受付番号	24-17	
課題名	入院中の患児に付き添う家族が抱える負担感に関する研究	
研究の概要	当研究では、入院中の患児に付き添う家族にアンケートを行い、家族が抱える負担感について明らかにし、今後の付き添い環境の改善や看護師が家族へ提供する看護の質を向上させることを目標とする。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	5 東病棟看護師	有森 瞳
受付番号	24-18	
課題名	急性期脳卒中患者の障害受容についての看護師の捉え方	
研究の概要	<p>脳卒中は近年まで日本の三大死因として挙げられていたが、2022年では第4位となっており死亡者数は減少しているが、介護を必要とする疾患では「認知症」に続いて第2位である。そのため、脳卒中は後遺症を残す確率が高く後遺症を抱えながら生活を送っている人が多い。対象とする嬉野医療センター5東病棟は急性期病棟であり回復期病棟と比較し患者と関われる期間が短い。また、医療依存度が高く、心理面も不安定であり、より密な関わりが必要となってくる。看護師は自らの言動や態度が患者の回復過程、障害受容の過程に影響を及ぼしているということを実感し関わりを検討する必要がある、患者がどのような状態になったときに障害受容したと判断しているのか、どのように評価して対応しているのか検討する必要があると考える。今回、嬉野医療センター5東病棟の師長、副師長を含む25名の看護師を対象とし、脳卒中患者の障害受容についての考えや理解について、グループフォーカスインタビューを用いて半構成的面接を行う。脳卒中で後遺症のある患者の受け持ち経験がある看護師で、経験年数の近い話しやすいメンバーを考慮してグループ構成を行う。具体的な内容は、①障害を持つ患者との関わりで考えたことや悩んだこと、②受容の評価の基準、③看護師が果たす役割及び影響とした。データ分析方法は、ICレコーダーで録音した語りから逐語録を作成し文脈・記録単位に分割した後、共通性を検討しながら、コード化、サブカテゴリー化、カテゴリー化を行う。</p> <p>今回の研究で、急性期の脳卒中ケアに関わる看護師の障害受容に対する考え方や捉え方が明確になり、急性期患者の障害受容の評価における課題の検討に繋がると考える。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	7 東病棟看護師	田代 七香・福満 真由美・馬場 秀美
受付番号	24-19	
課題名	口腔ケアプロトコール導入前後での病棟看護師の口腔ケアに関する意識の変化	
研究の概要	従来の口腔ケアの目的は、口腔内感染の予防というかざられたものであった。しかし近年、口腔内細菌により誤嚥性肺炎・人工呼吸器関連肺炎が引き起こされることがわかっており、さらに心血管・糖尿病・低出生体重児の出産にも影響を及ぼすという研究もあることから、口腔ケアの意義はますますクローズアップされている。また、口腔は基本的な生活行為をつかさどる器官であり、その機能を維持・回復させることは、単に口腔機能の維持・回復にとどまらず、	

	患者の QOL 向上にもつながる。看護師が行う看護ケアの一つとして“口腔ケア”の重要性は多くの論文にて報告されているが現状として十分に実施できていないことも同時に報告されている。問題の背景としては日常の多忙な看護業務での口腔ケアの優先順位が低いこと、口腔ケアの方法に関する認識不足、ケアの方法自体の理解不足、口腔内環境の評価の均一化がされていない、などの点があげられている。口腔ケアプロトコール導入によって看護師の口腔ケアに関する意識が向上する口腔内環境の改善を図ることができると同時に誤嚥性肺炎の発生率の減少などにもつながると考えられる。 そこで本研究では口腔ケアプロトコール導入前後での看護師の口腔ケアに対する意識の変化をアンケート調査にて検討をおこなう。
判定	迅速審査承認 計画どおり承認とする。

申請者	4 西病棟看護師	筒井 愛賀・山口 真侑
受付番号	24・20	
課題名	新人看護師の社会人基礎力の実態と関連要因	
研究の概要	<p>社会人基礎力とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎力」として経済産業省が提唱しています。どこの仕事の現場でも求められる能力であると同時に、社会の変化、職場の変化に対応するために必要な能力です。看護職にしての社会人基礎能力は、医療の現場の中でのさまざまな人々の関わりを通して、看護職としての姿勢や体動がとれているのか、社会基礎力の3つの能力・12の能力要素を基に振り返り、自己の発揮状況を自覚して、意識して発揮する機会としていくことが重要とされています。</p> <p>先行研究では、近年若い世代の環境は大きく変化してきており、人間関係の構築や社会への適応能力に問題をもつ者も少なくないと言われています。看護職においても、職場の人間関係や職務に適応できずリアリティショックを受け、離職する例も少なくなく、当院も例外ではありません。リアリティショックを乗り越えるためには社会人基礎力の発揮が必要であるとされています。</p> <p>そこで、本研究では当院に勤務する1～3年目看護師を対象に社会人基礎力尺度を用いたアンケート調査を実施し、実態把握を行うと共にその関連要因から取り組むべき課題を見出すことを目的に調査を実施いたします。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	6 西病棟看護師	原口 さやか・竹崎 和弥
受付番号	24・21	
課題名	人工肛門造設患者の看護実践における精神的負担と困難の実態	
研究の概要	嬉野医療センター外科病棟看護師人工肛門管理指導に関してアンケートを実施し実態調査を行う。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	循環器内科部長	下村 光洋
受付番号	21-24	
課題名	心不全増悪入院患者におけるアンジオテンシン・ネプリライシン阻害薬の研究 (PREMIER study)	
判定	迅速審査承認	R6.7.10付公立大学法人福島県立医科大学認定臨床研究審査委員会承認課題。臨床研究の終了報告を行うために申請。再審議の上、承認とする。

申請者	副院長	佐々木 英祐
受付番号	23-05	
課題名	市中肺炎に対するラスクフロキサシンスイッチ療法の有効性および安全性を評価する多施設共同単群非盲検試験	
判定	迅速審査承認	R6.6.24付長崎大学臨床研究審査委員会承認課題。研究計画書と同意説明文書の変更、他施設情報変更、第一回定期報告および軽微報告による変更申請。再審議の上、承認とする。

申請者	リウマチ科部長	荒武 弘一朗
受付番号	20-82	
課題名	メトトレキサート (MTX) 抵抗性関節リウマチ患者を対象としたウパダシチニブ+MTX 併用による臨床的寛解達成および臨床的寛解達成後の MTX 休薬における臨床的非再燃の維持を評価する多施設共同前向き試験 (DOPPLER STUDY)	
判定	迅速審査承認	R6.6.24 付長崎大学認定臨床研究審査委員会承認課題。他施設情報(分担者、管理者)の変更申請。再審議の上、承認とする。

申請者	循環器内科部長	下村 光洋
受付番号	23-33	
課題名	循環器疾患診療実態調査 (JROAD) のデータベースと CRT 患者の予後に関わる因子に関する研究	
判定	迅速審査承認	R6.2.15 付国立研究開発法人国立循環器研究センター研究倫理審査委員会承認課題。研究計画書及び情報公開文書の改訂、他施設情報等の変更申請。再審議の上、承認とする。

申請者	循環器内科部長	下村 光洋
受付番号	21-37	
課題名	遺伝的素因に基づく心房細動アブレーション後の長期的予後と予測因子の評価 Follow-Up study of paTients UndeRgoing cathEter ablation for Atrial Fibrillation: evaluation of long-term outcomes and predictive factors based on genetic predisposition(FUTURE-AF Study)	
判定	迅速審査承認	R6.6.27 付佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会承認課題。共同研究施設の追加に伴う書類の改訂等による変更申請。再審議の上、承認とする。